

琉球大学学術リポジトリ

復帰準備（対内）（政府調査団派遣等）－法制局、大蔵、通産、対策庁－(1)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-29 キーワード (Ja): 復帰準備, 各省庁現地出張調査団, 沖縄海洋博覧会 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43388

通産省（沖繩海洋博）

院会と関係するに自国に於ては、外務省に
 して量るべきなり。
 2. 国際博覧会に關するパリ条約との關係。
 (1) 国際博覧会に關するパリ条約との關係に於ては、
 本件海洋博覧会は、同条約第2条に定められた特別
 博覧会のカテゴリ-に入ると考へらる。
 (2) 但し、^{本件}海洋博覧会は、^(同条約)第2条に特別博覧会
~~の範疇に属する~~として、^{同条約}第2条に特別博覧会
 の範疇に属するとして、(a) 技術
 (i) 原料、(ii) 生活必需品のうちに入る
 のもの、(或は、(iii) 技術に關するもの) 等々の
 ものに於ては、^{海洋の} ~~同条約~~ 第2条に於ける博覧会の
 先例に於ては、^{本件} 本件海洋博覧会は、上記
 パリ条約の特別博覧会として、~~在りては、~~
 認めらるべきなり。

1. 1907年、国際事務局に打診した父案のみ、
 この時、^{外務省} 断定的に判断したことは出来ず、
 (3) 従つて、^{外務省} 政府は、本件海洋博覧会に於ける
 の政府の立場を、一応、^{本件} 同条約に於ける
 国際事務局に打診を行ふこととした。
 3. 南樞時期
 南樞時期と施政権通過線とを以て
 當然である以上、上記の如く、本件海洋博
 覧会、国際博覧会条約上の「特別博覧会
 として認めらるる場合、同条約第2条に於ける
 (i) 南樞時期の1年前に外国に對する招請
 を行ふ(第5条)、(ii) 招請時期の少くとも
 6ヶ月前に、パリの国際事務局に登録する(第8条)
 父案のみ、従つて、南樞時期と74年以降と

するに必要である。 ~~これ以前~~ (1941年
 7月)に南極探検に付、不可記(不可
 知)の ^{中絶の} 施政権を遂行し、 ^{神威丸} 施政権の遂行の
 前提に、国際的公平性を達成することである。
~~少くも北極圏上の指針として、合理的な計画、21
 年、~~本國政府~~ 施政権を遂行協定を遂行
 前に、施政権を遂行と既述の事象として、日米例
 の行動があることについて、極北の神経痛の半例
 の内の内閣が生じるので、これを公に、
^{同盟の}
 出来のわけを、この公に望む(11.2)
~~本國際博覽會条約との関係。~~
 4. 米国の南極。
 (1) 本津浦洋博の南極 ~~探検~~ 施政権を遂
^海
 行とあることとして、施政権を遂行の中絶
 がある。諸般の準備を行なう必要あり~~

ありと見出し、その ~~右~~ 米例は、計
 画、日米例の計画内容を説明して、
 必要あり。
 (2) 山中総務局長訪中の際に、もし、局長
 の事件構想の行等、公に公表する
 こと、右に付き、事前には、~~本津浦~~ 米例に、~~本津浦~~
 不承とも、局長は、~~本津浦~~ 高年并務長
 の全談の際、局長より、~~本津浦~~ 説明があること
 必要ありと考へらる。

アメリカ局長

参事官

北米第一課長

沖繩における海洋万国博の構想について

44.3.18

米北一(石野)

最近、沖繩において海洋万国博誘致の構想が琉球政界の中に生れ起る

旨報道されているところ(別添紙参照)本件について調査結果次の通り。

(1) 総理府特選の税務課に於て、沖繩における海洋万国博誘致構想は、

省が海洋万国博開催の調査費の予算措置を講じたこと、

琉球政界の一部で、これを沖繩に誘致しようとする案が出たことである。

(2) 通産省沖繩対策室に於ては、

GA-6

外務省

通産省としては大阪万国博終了後同施設を有効に利用する方法の一案として

海洋万国博を由いなくどうかという考えあり、この可能性を探るための調査費を

計上したものである。従って海洋万国博という構想が全然でない

110 この予算措置の額が大きくなって、

(3) 海洋万国博開催についての法的問題、

万国博準備室に付、

(1) 特別博覧会委員は国際事務局により毎年改正される海洋万国博開催を事務局の承認を得る

GA-6

外務省

改正 憲法第2条第3項並

由 僅可能である。(現在在事務局は特別
博を奨励する(可なり)申請が去下地

例は))

(12) 七し沖繩において海洋博を準備する

二二二二二二二 復帰後、手続等を設

これは「最低1年を要する」(實際上1974
年))

年位には現時的に準備可能である。

沖縄経済 復帰後の生きる道

張り合う地道派と飛躍派

経済教室

年度	1965	1967	1969
国民総生産 (百万円)	386.6	543.3	727.1
国民所得 ()	340.1	473.5	637.2
総人口 (千人)	929	952	976
就業者数 (千人)	405	420	422
雇用者数 (千人)	188	214	229
1人当り所得 ()	366	497	653
消費者物価 (65年=100)	100.0	110.3	120.8
対外収支 (百万円)			
I 受取総額	270.9	361.3	415.2
商品輸出	83.4	81.2	89.8
米穀輸出	135.0	197.4	209.2
その他輸出	27.1	30.8	49.1
移住者受取 (他)	25.4	51.9	65.1
II 支払総額	242.4	375.2	418.8
貿易輸入	229.9	354.3	385.7
貿易外支払	12.5	20.9	33.1
III 収支じり	28.5	81.9	45.6

種々雑多な 復帰の不安

早すぎるとまどろい 基地収入は再就職は？ 本土との競争は？

「復帰後の不安」は、復帰が三年を過ぎたにもかかわらず、依然として「明暗の入り交錯する不安の嵐」である。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。

復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。

復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。

続々登場するウルトラC

既存企業を強化 地道派 飛躍派 海洋万国博で一気に

本土不信から 海外歓迎

復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。

復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。

復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。

復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。

復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。

復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。

復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。復帰後の沖縄は、経済的自立の道を探る中で、種々雑多な不安を抱えている。

国際博覧会 北米米一課 41

海洋博覧会沖縄開催記事について

4.5.8 米北1

沖縄の海洋博覧会開催に
5月8日付別添朝日新聞記事に因り

関係各省に照会した結果、要旨下記のとおり。即参考まで。

記

- 1. 通産省(沖縄対策室大塩班長)
 - (1) 7月9日衆院科学技術振興対策特別委員会において小宮山通産政務次官が「沖縄の本土復帰を記念して1973年頃沖縄において海洋博覧会を開催する構想がある」と答弁した

ことば事実である。

(2) 朝日新聞通産省の構想と12報に

2...の内容は、同省が本件海洋博覧会開催のた...検討資料として取纏

α省内関係課において研究したところ...のた...のた...のた...のた...

い...の「勉強会」の単...の素案...あり、...の検討...行...た...

であり、同省の構想...決定...た...た...のた...のた...のた...

手...た...のた...のた...のた...のた...のた...のた...のた...のた...

条約に基づき「特別博覧会」として...のた...のた...のた...のた...のた...

国際協定課長

アメリカ局長

参事官

北米第一課長

国際海洋博の沖縄開催記事
について

45.6.27.
木比一

6月27日付読売新聞は政府は沖縄返還事業として「国際海洋博覧会」を特別回

際博覧会として早ければ「1974年沖縄で開催する方針を決定し旨報道していること、本件
(別添参考)

の事実関係につき通産省 ^{及び総理府} 沖縄対策室 (大塚班長) に照会した結果次の通り。

1. (4) 通産省 沖縄対策室 (大塚班長)

通産省としては正式に決定したわけでは

ないが「1975年に沖縄で国際海洋博を

開催する方針で新政策の重点施策として掲げ予算要求を打つておられる。

従って ^同 新聞報道は正確に欠けが「方針としてはその通り」といえる。

2. (4) 通産省 海洋開発課

昨年、国際海洋博を日本において開催しようとの構想の下に、1970年度の予算として調査費

を計上したことがあったので、今度は新規に(1971年度予算要求) 海洋開発推進調査

費を要求しているが、これにおいて海洋博の調査費にあてる ~~かは~~ どうかは未定。

従って海洋博を沖縄で開催することは最終的に決まっていないうえに担当課

も主管が決定していない次第である。

その方針が課長以上のレベルの段階で
決定される当然 総理府や外務省

とも協議する必要がある。

(1) 総理府対策部調整部(青森参事院)

また通産省より正式な説明を受けている。
山中長官訪米の際、海河不降南催につき、
は

現地側の要望があり本土及び現地の協力が
得られれば、やはり旨発言している。

対策部では前向きに検討していると思
える。 75年の南催といふことに

これは、復帰後のことであるが、対米
南催上あり問題にはなるまい。

不傳 伊吹

誌 6月27日朝刊2面

国際海洋博 沖繩で 4年後に政府方針

政府は、沖縄返還の記念事業として計画中の、国際海洋博覧会を、万国博と同じく国際博覧会条約に基づき特別国際博覧会として、早ければ一九七四年、沖縄で開催する方針を固めた。これまでは海洋部門で特別博覧会が開かれた例はなく、これが世界で初めてとなるため、産業界と具体的な計画を練ったうえ、近くハリの同条約事務局に開催を認めるよう働きかけを始めた。

出た。しかし同条約事務局が特別として承認してくれば、アメリカ、イギリス、ソ連、フランスを海洋先進国に出席を呼び込むことも可能で、同等者もあきまらぬ。またその承認を取り付けたら、国内募集では、三井物産を中心とする三井海洋開発グループや富士銀行、丸紅、日本郵船などを中心とする芙蓉興業グループが、具体的な展示計画を検討しており、海底公園、海中展望

船、海洋研究所、自然熱帯植物園、水中遊覧船、海空ホテルなどの建設計画がまとまった。また、日琉間工業園所が主催者となり、全体のところを多岐にわたって行っている。展示会場は、沖縄西海岸、開港沖の慶良間群島、台湾に近い西表島などがあられ

73年に国際海洋博

通産省が構想を進める

沖縄経済発展の足がかりに

通産省は一九七三年に予定されている沖縄の本博覧会記念七三年秋自営の沖縄国際海洋博覧会を開催する構想を進めている。これは七日の衆議院科学技術委員会特別委員会、小宮山重四郎通産相が明らかにしたものである。通産省は、国際海洋博覧会の開催を沖縄の経済発展の足がかりとして、その開催にむけて相当の公共投資や関連事業投資を奨励するの観光資源の開発に着手出来るべきの経済的効果に期待されている。

沖縄は本土復帰準備、基地依存の経済体制から脱皮を迫られているが、主要産業はサトウキビ農業にあり、近代的産業の導入が急がれている。しかし、電力、水道等の不足という要件があり、まずこれらの問題を解決しなければならぬが現状。そこで通産省は沖縄の産業基盤を築くため、国際海洋博覧会

を求め、若年層としては国内の海洋開発関係団体、学識経験者、財界の代表から全国海洋博覧会実行委員会を組織し、準備を進めようとしている。博覧会開催にあたっては、冷房用の電力一萬三千キロワット